

1 指導資料の活用の仕方

この防災教育指導資料は、学校の学習活動全体を通して、万一の大震災などを想定して行う避難訓練とその事前・事後指導において活用したり、各教科等との連携を図りながら各学校で創意工夫して活用したりできるように構成してあります。

指導教材の活用の仕方 【P1】

○ ねらい、指導の重点は？

防災教育のねらい・重点・機会 【P2】

○ どのような内容で？

防災教育に関連する教科等の指導内容 【P3】

○ いつ、どんな場面で？

地震の内容

指導の展開例 【P9～】

- 小学校1・2学年用 【P9・10】
- 小学校3・4学年用 【P11・12】
- 小学校5・6学年用 【P13・14】
- 中学校用 【P15・16】
- 高等学校用 【P17・18】

津波の内容

津波防災に関する指導の展開例 【P34～】

- 小学校1・2学年用 【P34】
- 小学校3・4学年用 【P35】
- 小学校5・6学年用 【P36】
- 中・高等学校用 【P37】

○ 主体的な学びのために

指導教材 【P19～】

ワークシートの例 【P25～】

参考資料 【P42～】

- 発問について
- 参加型の学習について
- 学校安全計画の例（小・中・高等学校）
- 兵庫県南部、新潟県中越地震写真集
- 新潟県中越地震の地殻変動アニメーション

DVD教材 【別添】

（津波防災に関する視覚教材）

- 津波シミュレーション映像
- 津波実験映像各種
- 東日本大震災 津波映像
- 東日本大震災 津波の被害写真 など

2 防災教育のねらい・重点・機会

< 防災教育のねらい >

- 1 災害時における危険を認識し、日常的な備えを行うとともに、状況に応じて、的確な判断の下に、自らの安全を確保するための行動ができるようにする。
- 2 災害発生時及び事後に、進んで他の人々や集団、地域の安全に役立つことができるようにする。
- 3 自然災害の発生メカニズムをはじめとして、地域の自然環境、災害や防災についての基礎的・基本的事項が理解できるようにする。

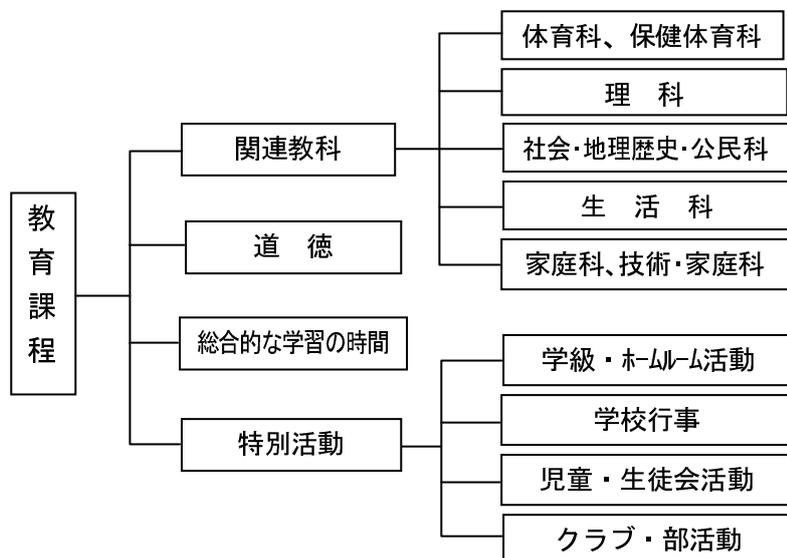
防災対応能力の基礎を培う



< 防災教育の重点 >

- **小学校**
 - 低学年： 教員や保護者など近くの大人の指示に従うなど適切な行動ができるようにする。
 - 中学年： 災害のときに起こる様々な危険について知り、自ら安全な行動ができるようにする。
 - 高学年： 日常の様々な場面で発生する災害の危険を理解し、安全な行動ができるようにするとともに、自分の安全だけでなく、他の人々の安全にも気配りができるようにする。
- **中学校** 小学校での理解をさらに深め、応急処置の技能を身に付けたり、防災への日常の備えや的確な避難行動ができるようにするとともに、学校、地域の防災や災害時のボランティア活動の大切さについて理解を深める。
- **高等学校** 自らの安全確保はもとより、友人や家族、地域の人々の安全にも貢献しようとする態度や応急処置の技能を身に付け、地域の防災活動や災害時のボランティア活動にも積極的に参加できるようにする。

< 防災教育の機会 >



★ 学校安全計画に位置付けて、教育活動全体で指導します。